

まちだも けいじばん

町田かたかごの森開園

☎公園緑地課☎724・4399

カタクリの開花時期に合わせて開園します。イチリンソウ、ヒトリシズカ、タマノカンアオイなどの野草も自生しています。

開園期間3月24日(日)～31日(日)、午前10時～午後3時(雨天閉園)

交通町田バスセンター4番・5番乗り場から山崎団地センター、または山崎団地行きバスで「山崎団地

入口]下車、徒歩約10分
※駐車場はありません。



「まちっこ」EVバスお披露目イベント 電気で走る新しいバスがデビューします

☎交通事業推進課☎724・4261

町田市民バス「まちっこ」の公共施設巡回ルートで、市内初めてとなるEV(電気)バスを3月25日(月)から導入するに当たり、「まちっこ」EVバスお披露目イベントを開催します。EVバスの車体デザインの発表、EVバスの車内見学を始め、神奈川中央交通マスコットキャラクター「かなみん」との触れ合いなど、お子さんが楽しめる企画

もあります。詳細は市HP(右記二次元コード)をご覧ください。



日・内3月24日(日)、お披露目式典＝午前9時30分～10時15分、みんなEVバス体験＝午前10時45分～午後1時(車内見学は午前11時45分ごろから)

場市庁舎こもれび広場

町田市景観計画を改定しました

☎地区街づくり課☎724・4267

市の景観づくりの総合的な指針となる「町田市景観計画」を3月に改定しました。

改定では、これまで築きあげた表情豊かな景観を守りつつ、人々の暮らしや活動を尊重し、目の前に広がる風景を一つひとつ丁寧に創り上げることで、「思わず出歩きたくなるようなまち」の実現を目指しました。

今後は、市民や事業者の皆さんと本計画を共有し、人々の活動や交流が生まれる景観づくりに取り組めます。



(募集する写真のイメージ)

景観づくりに係る冊子等に活用する市内の写真を募集します

普段の暮らしの中で撮影された市内の景色と人物が入った写真を募集します。提供された写真は、市発行の景観づくりに関する冊子やチラシ、各種パンフレット等に使用します。

写真のテーマ私が好きな暮らしの風景

応募方法応募写真と、氏名(ふりがな)、写真のタイトル、撮影場所、簡単な説明を明記し、11月30日までにX(旧Twitter) [アカウント名＝市民が主役の街づくり(町田市公式) @machida_chiku] に投稿またはメールで地区街づくり課(☎mcity6250@city.machida.tokyo.jp)へ。

詳細は、市HP(右記二次元コード)をご覧ください。



技能功労者・永年勤続従業員を表彰しました

☎産業政策課☎724・2129

市と町田商工会議所は、2023年度の技能功労者・永年勤続従業員の表彰式を、2月9日に町田市文化交流センターで行い、その功績をたたえました。

技能功労者は、永く同一の職業に従事し、技能及び技術の鍛錬や後進の指導育成に当たり、市民生活の向上と産業の振興に顕著な功績が認められる技能者の方で、22人を表彰しました。

永年勤続従業員は、市内の同一事業所に永年にわたり勤務している方で、30年以上の勤続が11人、20年以上の勤続が24人、10年以上の勤続が46人、合計81人を表彰しました。

また、表彰後、(特)アスレチッククラブ町田理事長・守屋実氏による祝賀講演会を実施しました。

技能功労者表彰の推薦主体である技能職団体等の名称及び受賞者氏名は、次のとおりです(順不同、敬称略)。

- (株)イワラ建設 伊藤治郎
- 東京都公衆浴場商業協同組合町田支部 土田太郎
- 町田電気工事協同組合 宮地功

- (一社)町田市建設業協会 芝田茂生
 - (株)高木商店 富井勝己
 - (一社)町田市緑化協会 宮本良太郎
 - 東京都理容生活衛生同業組合 田中哲也
 - 東京都自動車整備振興会町田支部 石井正孝
 - 首都圏建設産業ユニオン町田住宅・造園センター 鈴山慶記、関保夫、原和司、前林正行
 - 東京土建一般労働組合町田支部 佐藤儀之、澤口祐司、福田政勝、前田秀昌
 - (公社)東京都宅地建物取引業協会 飯田隆之、大滝睦男、鈴木博文、松永磨章、皆川雅仁
 - 堺建築組合 泰楽昭治
- ※永年勤続従業員表彰の受賞者氏名等は、市HPをご覧ください。



国際版画美術館 版画の青春 小野忠重と版画運動

☎市役所代表☎722・3111、同館☎726・2771

1930～40年代に活動した「新版画集団」と「造型版画協会」による版画運動を、リーダーであった小野忠重の旧蔵品を中心に紹介します。約300点の作品を通じて、激動の時代に版画に熱中した青年たちがいかにこの時代を超えようとしたか、明治の終わりに登場した創作版画は、いかなる「青春期」を迎えたのかを探ります。

会期3月16日(出)～5月19日(日)

休館日月曜日(4月29日、5月6日(は開館))、4月30日(火)、5月7日(火)

開館時間火～金曜日＝午前10時～午後5時、土・日曜日、祝休日＝午前10時～午後5時30分(いずれも入場は閉館30分前まで)

場同館企画展示室1・2

費一般900円、大学・高校生450円、中学生以下無料

※3月16日(土)、4月19日(金)は入場無料です。また、3月27日(水)、4月24日(水)はシルバーデーのため、

65歳以上の方は入場無料です。※会期中の土・日曜日、祝休日、シルバーデーは無料送迎バスを運行します。

関連イベント

内講演会、鼎談、子ども講座、ギャラリートーク、プロムナード・コンサート
※各種割引や関連イベントの詳細は、同館HPをご覧ください。



同時開催

特集展示「日本のグラフィック・デザイナーと版画」
会期5月26日(日)まで
場同館常設展示室



小野忠重《ジャズを廻る人々》1934年

号の広報紙は、9万986部作成し、1部当たりの単価は23円となります(職員人件費を含みます。また作成経費に広告収入等の歳入を充当しています)。